

## 三泉地区ワークショップ

<b>地区の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○清流寒河江川の左岸に位置した三泉地区は、古くから寒河江のさくらんぼの主要な生産地。</li> <li>○地区民一体で子どもたちの見守りや、予防消防に努め無火災を継続、大きな災害等もなく、子育てには最適の環境。</li> <li>○地域のまとまりが強く、住民が元気で、防火、防災意識が高い。</li> <li>○田んぼやさくらんぼ畑が広がり、自然豊かで風景が良い。</li> </ul>
<b>計画の基本方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人と人とのつながりを大切にし、人々が生き生きと暮らせる地域づくりを目指す。</li> <li>○幼児教育に力を入れ、若者が子育てしやすい環境整備をして人口減少に歯止めをかける。</li> <li>○幹線道路の整備や河川を活用する施設の整備を進めるなどし、交流人口を増やす。</li> <li>○田んぼやさくらんぼ畑が広がる自然豊かな風景を生かし、美しい地域づくりを目指す。</li> <li>○若い就農者と熟練者が協働し、頑張る営農を推進する。</li> </ul>

地域の現状と課題	参加者の意見	役割分担
<b>【道路】</b>		
○主要地方道寒河江村山線の三泉郵便局から旧株マイスター付近までの道路は三泉地区内の幹線道路であるが、道幅が狭く通行の安全に支障をきたしており、早期道路拡張整備が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自転車通行帯等も合わせて要望する。</li> <li>○地区全体としての強い要望があることを知ってもらえるように、整備促進への機運を高める。</li> </ul>	行政地域
○三泉地区内への出入りは寒河江川を渡る必要があり、さくらんぼの時期は道路が大変混雑している。これを解消するため、チェリーランド付近に橋を架けてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チェリーランド付近から三泉へと通じる橋の新設を要望する。</li> <li>○チェリーランドから三泉への橋梁設置は、観光果樹園の振興など地域活性化にもつながる。</li> <li>○架けた橋からさらに慈恩寺まで道路を延ばせば、市全体の観光の活性化にもつながる。</li> <li>○下河原から溝延までの道路(三泉堤防線)を整備し交通量を分散させる。</li> </ul>	行政地域
○寒河江川橋から国道112号交差点までの道路で一部左折レーンが設置され著しい渋滞は緩和したが根本的な対策となっていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○車両の混雑に対応できる信号に改善する。</li> <li>○左折レーンの設置によって渋滞は緩和傾向にあるため、しばらく様子を見る。</li> </ul>	行政
○寒河江学園からの、通学路になっている堤防の道路については交通量も多く大変危険である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○寒河江学園より寒河江川橋までの区間を桜つつみモデル事業等に組み入れ、道路の拡幅につなげる。</li> <li>○堤防の道路は登校時間帯には車両の通行を禁止する。</li> </ul>	行政
○桜つつみモデル事業で整備した桜並木はとても美しく、鑑賞に訪れる方も大変多いことから、道路の拡張整備や駐車場を確保が必要。	○桜つつみモデル事業は寒河江市と河北町をまたいで実施されているため、河北町との連携を深め、道路拡幅や駐車場の整備につなげる。	行政地域
○工業団地、慈恩寺等へのアクセスの整備が必要。	道生より上流の堤防を拡幅することで工業団地、慈恩寺等へのアクセスは改善する。	行政
<b>【交通】</b>		
○買い物難民である高齢者の移動手段として、デマンドバスのような手段が全地域にほしい。また、中心市街地のフローラさがえを拠点として活性化を図ってはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○送迎バスを市で準備し、フローラを拠点として送迎を行えば買い物難民は出ない。</li> <li>○フローラで高齢者の活動支援、運動不足解消などを行えば、フローラの活性化にもつながる。運営はシルバー人材センター等に委託する。</li> </ul>	協働
<b>【公民館】</b>		
○三泉地区は東部地区公民館との距離が遠く、東部地区公民館を使用する機会はほとんどない。地域住民が集まれる施設が必要であるため、東部地区公民館三泉分室の設置が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たに三泉分室として建物を設置すれば管理が大変になるため、既存の分館を分室として利用する。</li> <li>○既存の分館を使用する場合、駐車場が狭いので、広い駐車場の確保が必要。</li> <li>○分室責任者は地域住民が良いが、責任もって仕事をしてもらうため、分館長と同等の報酬は必要。</li> <li>○ふるさと公園内に分室を設置する。</li> </ul>	協働

地域の現状と課題	参加者の意見	役割分担
<b>【産業】</b>		
○地域の若い人が市外へ転出し、地域内の若い世代が本当に少ない現状で、若者の定住には働く場所が必要。	○魅力ある新たな事業所を工業団地に誘致し雇用を促進するとともに、交通の利便性を活かした流通団地を形成する。 ○さくらんぼ加工工場を地区内へ設置する。	行政
○三泉地区は農業が主体でがんばっている地域であるが、就農者の高齢化に伴いこれからの後継者等の問題がある。	○意欲あふれる若い経営者には手厚い補助をする。 ○他県の若い人にもアピールし、広く農家の後継者の獲得に努める。	協働
○空き家対策として、さくらんぼの時期などに新規就農者支援としての受入を行ってはどうか。	○空き家の貸し借り、利活用が可能となるよう進める官民一体となって施策を進める。	協働
<b>【子育て】</b>		
○学童保育など、子育てがしやすい環境づくりが必要。	○学童保育は現在地区内でも検討されているが、学童保育が実施された場合、指導者への厚い待遇も重要である。	行政 地域
○なか保育所みいずみ分園で0歳からでも引き受けるようにすればどうか。	○0才から小学校まで三泉地区内で一貫した教育を受けられるようになれば、それが三泉地区の特徴になる。モデル事業として取り組み。 ○幼児教育は人間の人格形成の基礎となる大切な時期であるため、しっかりとした育成計画が必要。	行政 地域
○小学校、保育所が近く子育てがしやすい環境だと人口は増える。	○先進地の取り組みを具体的に列挙し、寒河江市でも取り組みが可能なこと不可能なことを分けて、取り組みを検討する。	行政 地域
<b>【安全安心】</b>		
○若い人が地元から出て行くため、消防団員確保も難しく活動が大変になっている。さらに人が減れば消防団の存続自体が難しくなってくる。	○消防団の活動自体が大変すぎる。 ○OBの活用等、対策を具体的に検討しなければならない時期にきている。 ○消防団の班編成の見直しを含め、地域に合った消防団員数の適正な把握を行う。	行政 地域
○いろいろな規制が増えたため、寒河江川で遊べなくなってきた。	○魚つかまえなどの寒河江川のイベントを実施して、遊べる川として周知させていく。 ○安全に遊べる場所として、寒河江川の親水空間を整備する。(フットパス事業) ○川の怖さを実感させることで、水難事後防止ができる。	行政 地域
<b>【その他】</b>		
○三泉地区は河北町との行政界に存在している地域であることから、様々な面でつながりがあることから、住民サービスに不利益が生じないように広域的な対策が必要である。	○寒河江市と河北町の住民双方に不利益、不公平が生じないように、行政間で連携を深め、話し合いのうえ政策を実施していくべきである。 ○道路整備や除雪などどうしても行政界の間の空白地帯が生じているので対策を講じる。	行政 地域